

高校生、防災科学と出会う

—充実したサイエンスキャンプ2002—

ヨミウリ・ジュニア・プレス 聖心女子学院高等科3年 石野麻衣子

今年もサイエンスキャンプが8月5日～7日に行われました。1都6県から集まった12人が参加。私も記者として参加させていただきました。

1日目、期待と少しの不安を胸に研究所へ。まず、導入とも言える「自然災害の過去・現在・未来」のお話で防災科学を研究することの大切さを学びました。次の施設見学で最も興奮したのは、大型降雨実験施設です。「今からみなさんに187mm/h（日本の最高記録）の雨を体験してもらいます」といわれ、あっという間にバケツをひっくり返した以上の大雨！あまりのすごさに呆気にとられる参加者。この研究所ならではの体験でした。

2日目は、降雨が地面の中に浸透する現象を理解する実験、噴火についてのお話、そして「地震を知る技術」の授業がありました。地震とは何かを知った上で、震源決定の実習です。気分は気象庁の職員。しかし、正確に測らないと震源が決められなかったり、短い人でも5分位かかったり。「はい、もう人的被害が出てしまいました～」という先生の言葉に、早く正確に決定することの責任の重さをかみしめました。

最終日は「自然災害をミニチュアで再現」でなだれや液状化現象の仕組みを楽しみながら理解。最後に、各自興味のある先生の研究室を訪ねました。

とても短く感じた3日間。盛りだく



震源決定の実習

さんの内容で、充実していました。研究者の方々と直接お話しできたことも、私たちの内面に影響を与えたようです。帰り際、キラキラしたみんなの笑顔を見ながら、そう感じました。

記事はホームページで見ることができます。

ヨミウリ・ジュニア・プレスHP

<http://www.yomiuri.co.jp/junior>

(問い合わせ先：企画部企画課

☎0298-58-1773)

